

## 5 病院事業

### (1) 事業数及び経営規模

平成27年度における県内の市町村等が経営する病院事業の数は前年度と同数の18事業で、その病院数も前年度と同数の27病院となっている。事業数及び病院数のうち、1事業1病院（女川町）は想定企業会計である。また、石巻市立病院は東日本大震災により被災し、平成27年度末現在建設中であるが、決算状況調査上は1病院として計上している。

※ 想定企業会計とは、従前は公営企業会計として特別会計を設置していたが、現在はこれを廃止し、一般会計等において精算及び地方債の償還を行っている場合等において、決算統計上、これに係る一切の収支を一般会計等から分別し、当該事業に係る公営企業会計が設けられているものと想定し、当該想定会計において経理されたものとして取り扱っている会計のことをいう。

病院（想定企業会計を除く。）を経営主体別にみると、市営が16病院、町営が6病院、一部事務組合営が4病院となっている。

#### 【市営：7事業16病院】

仙台市、石巻市（2病院）、塩竈市、気仙沼市（2病院）、登米市（3病院）、栗原市（3病院）、大崎市（4病院）

#### 【町営：6事業6病院】

蔵王町、川崎町、丸森町、涌谷町、美里町、南三陸町

#### 【一部事務組合営：4事業4病院】

白石市外二町組合、黒川地域行政事務組合、加美郡保健医療福祉行政事務組合、みやぎ県南中核病院企業団

経営規模別にみると、300床以上は前年度と同数の6病院、200床以上300床未満も前年度と同数の1病院、100床以上200床未満も前年度と同数の5病院、50床以上100床未満は8病院で前年度から1病院増加、50床未満は6病院で前年度から1病院減少となっている。このうち、300床以上の病院は、仙台市立病院（525床）、大崎市民病院本院（500床）、気仙沼市立病院（404床）、公立刈田総合病院（317床）、みやぎ県南中核病院（310床）及び栗原市立栗原中央病院（300床）で、いずれも地域の基幹病院として機能している。

また、地方公営企業法の規定の全部を適用している事業は前年度と同数の7事業（仙台市、塩竈市、登米市、栗原市、大崎市、涌谷町及びみやぎ県南中核病院企業団）、一部を適用している事業も前年度と同数の9事業、指定管理者制度（代行制）導入も前年度と同数の1事業（黒川地域行政事務組合）となっている。

第1表 経営主体別・経営規模別の状況

（単位：病院、事業、％）

経営規模	市 営		町 営		一 組 営		計		構 成 比	
	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	
300床以上	4	1,729	0	0	2	627	6	2,356	23.1	57.1
200床以上300床未満	1	258	0	0	0	0	1	258	3.8	6.3
100床以上200床未満	3	411	1	121	1	170	5	702	19.2	17.0
50床以上100床未満	3	244	4	288	1	90	8	622	30.8	15.1
50床未満	5	152	1	38	0	0	6	190	23.1	4.6
計（病院）	16	2,794	6	447	4	887	26	4,128	100.0	100.0
経営形態	全部適用	5	1	1	7	41.2				
	一部適用	2	5	2	9	52.9				
	指定管理者（代行制）			1	1	5.9				
	計（事業）	7	6	4	17	100.0				

（注）病院数は、年度末現在の数である。

## (2) 業務の状況

平成27年度末における病床数は4,128床で、前年度に比べ94床(2.3%)増加している。病院別では、大崎市民病院が44床の増床、南三陸病院が52床の増床、川崎病院が2床の減床を行っている。

患者数は、年延入院患者数が1,075千人で、前年度に比べ29千人(2.8%)増加し、年延外来患者数は2,026千人で、前年度に比べ7千人(0.3%)増加している。また、1病院当たりの1日平均入院患者数は117人で、前年度に比べ2人(1.7%)増加し、1病院当たりの1日平均外来患者数は330人で、前年度に比べ2人(0.6%)増加している。

病床利用率は72.4%で、前年度に比べ1.0ポイント上昇している。このうち、一般病床利用率は73.2%で、前年度に比べ1.5ポイント上昇している。

平成27年度末における職員数は5,067人で、前年度に比べ123人(2.5%)増加している。

第2表 病床数及び患者数の推移

年 度		23	24	25	26	27	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
項 目	A				a	b	c	×100(%)
年 延 患 者 数 (千人)	入 院	1,144	1,116	1,091	1,046	1,075	29	2.8
	外 来	2,146	2,118	2,071	2,019	2,026	7	0.3
一 日 平 均 患 者 数 (人/1病院)	入 院	128	127	120	115	117	2	1.7
	外 来	328	329	321	328	330	2	0.6
病 床 利 用 率 (%)		(72.0)	(71.1)	(73.2)	(71.7)	(73.2)	(1.5)	—
		71.8	71.0	73.4	71.4	72.4	1.0	—
年 度 末 職 員 数	B	4,738	4,747	4,832	4,944	5,067	123	2.5
一 床 当 たり 年 度 末 職 員 数	B/A	1.10	1.10	1.18	1.23	1.23	0.00	—

(注)病床利用率欄の( )内は、一般病床分である。

## (3) 経営状況

### ア 損益収支の状況

病院事業の経常収益は893億12百万円、経常費用は950億円となっており、この結果、経常収支比率が94.0%となり、前年度に比べ0.4ポイント低下している。

経常利益が生じた事業は17事業(想定企業会計を除く。)のうち2事業(病院数では26病院のうち4病院)で、前年度に比べ1事業減少(病院数は1病院増加)となっており、その額は46百万円で、前年度に比べ8百万円(15.5%)減少している。

経常損失が生じた事業は15事業(22病院)で、前年度に比べ1事業増加(病院数は1病院減少)となっており、その額は57億35百万円で、前年度に比べ6億92百万円(13.7%)増加している。

経常収益に特別利益を加えた総収益は912億72百万円、経常費用に特別損失を加えた総費用は961億39百万円となっており、この結果、総収支比率は94.9%で、前年度に比べ9.6ポイント上昇している。

経常損益に特別損益を加減した純損益をみると、48億67百万円の純損失が生じており、前年度に比べ純損失が99億9百万円（67.1%）減少している。

累積欠損金を有する事業は16事業（25病院）で、前年度と同数（病院も同数）となっており、その額は820億85百万円で、前年度に比べ42億58百万円（5.5%）増加している。

不良債務を有する事業は2事業で、前年度と同じ事業数であるが、その額は2億26百万円で、前年度に比べ6億1百万円（72.6%）減少している。

第3表 病院事業の損益収支状況の推移

(単位:百万円、%)

項目	年 度	23	24	25	26	27	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
					a	b	c	×100
総 収 益	A	81,717	81,321	81,851	86,025	91,272	5,247	6.1
経 常 収 益	B	80,329	80,757	81,348	83,591	89,312	5,721	6.8
医 業 収 益	C	70,201	71,624	72,204	72,317	78,146	5,829	8.1
うち 料 金 収 入		63,788	65,204	65,634	65,517	70,866	5,349	8.2
うち 受 託 工 事 収 益	D	0	0	0	0	0	0	—
特 別 利 益		1,388	564	503	2,434	1,960	▲474	▲19.5
総 費 用	E	86,164	82,683	84,006	100,801	96,139	▲4,662	▲4.6
経 常 費 用	F	81,300	82,321	83,819	88,579	95,000	6,421	7.2
医 業 費 用		77,888	78,913	80,482	84,224	89,882	5,658	6.7
うち 職 員 給 与 費		37,331	37,188	37,716	38,934	40,105	1,171	3.0
支 払 利 息		1,619	1,637	1,542	1,665	1,755	90	5.4
特 別 損 失		4,864	362	187	12,222	1,138	▲11,084	▲90.7
経 常 損 益		▲971	▲1,564	▲2,470	▲4,988	▲5,689	▲700	14.0
経 常 利 益		1,306	1,576	1,220	55	46	▲8	▲15.5
経 常 損 失	G	2,276	3,140	3,690	5,043	5,735	692	13.7
純 損 益		▲4,447	▲1,362	▲2,155	▲14,776	▲4,867	9,909	▲67.1
純 利 益		1,424	1,715	1,372	12	182	170	1,378.0
純 損 失		5,871	3,077	3,527	14,789	5,049	▲9,740	▲65.9
累 積 欠 損 金	H	73,571	71,477	68,402	77,827	82,085	4,258	5.5
不 良 債 務	I	558	231	0	827	226	▲601	▲72.6
経 常 収 支 比 率 B/F		98.8	98.1	97.1	94.4	94.0	▲0.4	—
総 収 支 比 率 A/E		94.8	98.4	97.4	85.3	94.9	9.6	—
医業収益 に対する 割合	経 常 損 失 比 率 G/(C-D)	3.2	4.4	5.1	7.0	7.3	0.4	—
	累 積 欠 損 金 比 率 H/(C-D)	104.8	99.8	94.7	107.6	105.0	▲2.6	—
	不 良 債 務 比 率 I/(C-D)	0.8	0.3	0.0	1.1	0.3	▲0.9	—
総 事 業 数	J	18	18	18	18	18	0	0.0
経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数	K	11	14	12	14	15	1	7.1
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数	L	18	17	17	16	16	0	0.0
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数	M	2	2	0	2	2	0	0.0
総事業数 に対する 割合	経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数 K/J	61.1	77.8	66.7	77.8	83.3	5.6	—
	累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 L/J	100.0	94.4	94.4	88.9	88.9	0.0	—
	不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 M/J	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	—

(注) 不良債務=(流動負債-建設改良等の財源に充てるための企業債-建設改良等の財源に充てるための長期借入金-地方債に関する省令附則第8条の3に係るリース債務(PFI法に基づく事業に係る建設事業費等))-流動資産-翌年度へ繰り越される支出の財源充当額)

イ 資本収支の状況

病院事業の資本的支出は319億26百万円で、前年度に比べ47億68百万円（17.6%）増加している。このうち、建設改良費は203億46百万円で、前年度に比べ4億84百万円（2.3%）減少しており、企業債償還金は103億17百万円で、前年度に比べ44億36百万円（75.4%）増加している。

資本的支出の財源は、外部資金が企業債や他会計出資金等の289億60百万円であり、内部資金（資本的収入が資本的支出に不足する分の補てん財源）が損益勘定留保資金等の29億4百万円である。

なお、資本的支出に占める建設改良費の割合は63.7%で、前年度に比べ13.0ポイント低下しており、建設改良のための企業債償還金の割合は30.9%で、前年度に比べ10.8ポイント上昇している。

第4表 病院事業の資本収支状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目		年 度					対前年度比較	
		23	24	25	26	27	b - a	(c/a)
					a	b	c	×100
資本的支出	建設改良費	17,897	10,683	27,112	20,830	20,346	▲484	▲2.3
	企業債償還金	5,150	5,858	5,923	5,881	10,317	4,436	75.4
	うち建設改良費のためのもの	4,727	4,940	5,492	5,447	9,850	4,403	80.8
	その他	349	1,191	505	432	1,262	830	191.9
	計	23,397	17,732	33,540	27,158	31,926	4,768	17.6
同 上 財 源	内部資金	1,894	2,877	1,808	2,082	2,904	822	39.5
	外部資金	21,503	14,855	29,791	25,016	28,960	3,945	15.8
	企業債	14,029	6,317	16,521	17,861	6,553	▲11,307	▲63.3
	うち建設改良費のためのもの	14,029	5,827	16,521	17,861	6,553	▲11,307	▲63.3
	他会計出資金	4,559	4,553	7,666	4,986	4,693	▲293	▲5.9
	他会計負担金	368	193	553	941	1,001	60	6.4
	他会計借入金	0	0	0	39	0	▲39	皆減
	他会計補助金	729	196	529	452	517	65	14.4
	国・県補助金	1,222	3,385	4,564	2,687	14,692	12,006	446.9
	繰越事業財源(▲)	188	23	23	103	57	▲47	▲45.1
計	23,397	17,732	31,599	27,097	31,864	4,767	17.6	
財源不足額		0	0	1,941	61	62	1	1.9
当年度同意等債で未借入又は未発行の額		0	0	1,941	0	0	0	—
実質財源不足額		0	0	0	61	62	1	1.9

(注)1 内部資金＝補てん財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

ウ 料金収入の状況

料金収入（入院・外来収益）は708億66百万円で、前年度に比べ53億49百万円（8.2%）増加している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院収益が4万3,162円で、前年度に比べ1,964円（4.8%）増加しており、外来収益が1万2,085円で969円（8.7%）増加している。

職員1人1日当たりの診療収入は、医師1人当たりでは28万6,933円で1万39円（3.6%）増加しており、看護部門1人当たりでは5万5,867円で1,641円（3.0%）増加している。

第5表 料金収入の状況の推移

（単位：円、%）

年 度 項 目		23	24	25	26 a	27 b	対前年度比較	
							b - a c	(c/a) ×100
							料 金 収 入（百万円）	63,788
内 訳	入院収益（百万円）	42,084	43,117	43,398	43,078	46,387	3,309	7.7
	外来収益（百万円）	21,704	22,087	22,236	22,439	24,479	2,040	9.1
患者1人1日 当たり診療 収 入	入 院	36,789	38,633	39,777	41,198	43,162	1,964	4.8
	外 来	10,112	10,429	10,736	11,116	12,085	969	8.7
職員1人1日 当たり診療 収 入	医 師	282,201	282,617	275,580	276,894	286,933	10,039	3.6
	看 護 部 門	52,732	53,624	52,887	54,225	55,867	1,641	3.0

エ 他会計繰入金の状況

他会計からの繰入金（借入金を含む。）は、収益的収入（特別利益を含む。）に計上される繰入金が130億2百万円、資本的収入に計上される繰入金が62億12百万円、合わせて192億14百万円で、前年度に比べ5億1百万円（2.7%）増加している。

収益的収入に計上される他会計からの繰入金の総収益に対する割合は14.2%で、資本的収入に計上される他会計からの繰入金の資本的収入合計に対する割合は21.3%で、前年度に比べ4.3ポイント低下している。

病床1床当たりの他会計からの繰入金は465万5千円で、前年度に比べ5千円（0.1%）増加している。

第6表 他会計からの繰入金の状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目		年 度	23	24	25	26 a	27 b	対前年度比較		
								b - a c	(c/a) ×100	
他 会 計 か ら の 繰 入 金	収 益 的 収 入 A		13,236	11,895	11,492	12,295	13,002	708	5.8	
	うち	負 担 金		9,458	9,226	8,962	9,184	9,474	290	3.2
		補 助 金		3,243	2,126	2,043	2,301	2,326	25	1.1
		資 本 費 繰 入 収 益		—	—	—	0	0	0	—
		特 別 利 益		536	543	486	810	1,202	393	48.5
	資 本 的 収 入 B		5,656	4,942	8,749	6,418	6,212	▲206	▲3.2	
	うち	出 資 金		4,559	4,553	7,666	4,986	4,693	▲293	▲5.9
		負 担 金		368	193	553	941	1,001	60	6.4
		借 入 金		0	0	0	39	0	▲39	皆減
		補 助 金		729	196	529	452	517	65	14.4
計 (A+B) C			18,891	16,837	20,241	18,713	19,214	501	2.7	
総 収 益 D			81,717	81,321	81,851	86,025	91,272	5,247	6.1	
資 本 的 収 入 E			21,335	14,864	29,787	25,018	29,145	4,127	16.5	
繰 入 率	総収益に対する繰入率 A/D		16.2	14.6	14.0	14.3	14.2	▲0.0	—	
	資本的収入に対する繰入率 B/E		26.5	33.2	29.4	25.7	21.3	▲4.3	—	
一 床 当 た り	収 益 的 収 入 (千円)		3,004	2,755	2,822	3,055	3,150	95	3.1	
	資 本 的 収 入 (千円)		1,284	1,144	2,149	1,595	1,505	▲90	▲5.6	
	計 (千円)		4,288	3,899	4,971	4,649	4,655	5	0.1	

※ 一床当たり繰入金 =  $\frac{\text{他会計繰入金}}{\text{年度末病床数}}$

オ 職員給与費の状況

職員1人当たり平均給与月額、医師が133万1,146円、看護師が44万7,856円、准看護師が44万9,261円、事務職員が51万7,497円、その他の職員が42万9,740円、全職員平均では54万6,584円で、前年度に比べ1万3,461円(2.4%)減少している。

第7表 職員別給与(平均給与月額)の状況の推移

(単位:円、%)

項目 \ 年度	23	24	25	26 a	27 b	対前年度比較	
						b-a c	(c/a) ×100
医師	1,476,590	1,457,526	1,448,895	1,474,765	1,331,146	▲143,619	▲9.7
看護師	443,400	445,292	439,832	455,366	447,856	▲7,510	▲1.6
准看護師	469,958	470,854	472,569	441,987	449,261	7,274	1.6
事務職員	508,972	505,582	500,546	534,016	517,497	▲16,519	▲3.1
その他職員	432,573	428,234	425,867	418,239	429,740	11,501	2.7
全職員	552,007	552,822	548,238	560,046	546,584	▲13,461	▲2.4

(注)1 管理者及び臨時職員を除く。

2 平均給与月額=(基本給+手当)/年間延職員数

カ 業務量の状況

職員1人当たりの患者数は611人で、前年度に比べ7人(1.1%)減少しており、職員1人当たりの料金収入は1,396万7千円で、前年度に比べ75万2千円(5.7%)増加している。

病床100床当たりの職員数は、医師が16.4人、看護部門職員が86.8人、全職員では144.4人で、前年度に比べ7.8人(5.7%)増加している。

第8表 職員業務量の状況の推移

項目 \ 年度	23	24	25	26 a	27 b	対前年度比較		
						b-a c	(c/a) ×100(%)	
職員1人当たり患者数(人)	682	678	652	618	611	▲7	▲1.1	
職員1人当たり料金収入(千円)	13,218	13,675	13,527	13,214	13,967	752	5.7	
病床100 床当たり	医師(人)	14.7	15.2	16.8	16.2	16.4	0.2	1.2
	看護部門(人)	78.5	78.7	86.5	84.6	86.8	2.2	2.6
職員数	129.2	130.5	143.8	136.6	144.4	7.8	5.7	

キ 材料費の状況

薬品等の医療材料費は169億2百万円で、前年度に比べ20億8百万円（13.5%）増加している。これを料金収入に対する割合で見ると23.9%で、前年度に比べ1.1ポイント上昇している。

医療材料費のうち、薬品費は93億75百万円で、前年度に比べ15億30百万円（19.5%）増加しており、患者1人当たりの薬品費は3,024円で、前年度に比べ464円（18.1%）増加している。

薬品使用効率は、投薬分が125.8%、注射分が86.1%、平均で100.7%となっており、前年度に比べ1.8ポイント上昇している。

第9表 料金収入に対する材料費の状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目		年 度					対前年度比較		
		23	24	25	26 a	27 b	b - a c	(c/a) ×100	
料 金 収 入		63,788	65,204	65,634	65,517	70,866	5,349	8.2	
医 療 材 料 費		14,159	14,481	14,793	14,893	16,902	2,008	13.5	
う ち	薬 品 費	7,853	7,883	8,107	7,845	9,375	1,530	19.5	
	そ の 他 材 料 費	6,306	6,597	6,685	7,049	7,527	478	6.8	
料金収入 に対する 割 合	医 療 材 料 費	22.2	22.2	22.5	22.7	23.9	1.1	—	
	う ち	薬 品 費	12.3	12.1	12.4	12.0	13.2	1.3	—
		そ の 他 材 料 費	9.9	10.1	10.2	10.8	10.6	▲0.1	—
患者1人当たり薬品費(円)		2,387	2,438	2,564	2,560	3,024	464	18.1	
薬品使用 効 率	投 薬	135.3	126.5	129.9	132.2	125.8	▲6.4	—	
	注 射	86.6	85.5	83.0	83.0	86.1	3.1	—	
	平 均	104.0	100.4	99.0	98.9	100.7	1.8	—	